

第102回安来市議会定例会 3月定例会議

文教福祉委員会 委員長報告

令和6年3月1日

文教福祉委員長報告を行います。

去る2月7日に開議された本会議において、本委員会に付託された「陳情第1号 陳情書 特別交付税を活用した補助金に関する陳情」について、2月22日に審査を行いましたので、その結果と経過について報告いたします。

まず審査の結果については、全会一致で採択すべきものと決しました。

続いて、審査の経過について主なものを申し上げます。

審査にさきだち、執行部から提出された資料「救急出動件数、救急搬送人員、安来市立病院と安来第一病院の搬送人員・応需率、救急搬送困難事案件数一覧表」、「救急搬送困難事案の状況」、「公的病院等への助成に対する地方財政措置の概要」について説明を受けました。

委員からは「令和5年8月以降、安来市立病院の救急車受入要請の応需率が安来第一病院の応需率を逆転しているのは何故か」との質問に対し、執行部からは「安来第一病院は、9月末から派遣医を拡充されているが、応需率が下がっており、その原因はわからない」と答弁がありました。さらに委員からの「医療機関同士の応需率は令和6年度以降も現状のような見込みか」との質問に対し、「今後については、医師の働き方改革等の影響もあるので、市全体として見通すことができない」と答弁がありました。

また、委員からの「平成21年度から地方財政措置の対象病院となっているようだが、救急告示病院であれば、実情も実績も出てくる。過去に検討されたのか」との質問に対し、「平成21年度時点では、公立病院のない自治体において対象であったが、平成23年度から公立病院のある自治体においても対象となった。市としては、社会医療法人の自主判断にて救急医療を開始されたと認識していた。しかしながら、救急搬送の状況が令和2年に始められた時と現在で大きく変わってきている」と答弁がありました。

執行部への質疑ののち、委員より意見聴取ならびに採決を行いました。

委員からは「安来の医療を担ってもらっており、大事な病院であるという思いもある。特別交付税措置があるのであれば採択と考える」という意見や「支援するとすれば、経営状況等の報告を求めていかねばならないと思う」という意見がありました。

以上、文教福祉委員長報告といたします。